

日時・場所	平成30年8月6日(月) 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、瀬川議会事務局長、竹中政策調整部長、小山総務部長、田中市民部長、高橋健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、三上都市建設部長、遠藤環境経済部長、吉川教育部長、川端会計管理者、吉田政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局(企画調整課)

1. 市長指示事項

- ・ 暑いので、部次長自らもそうであるが、職員の健康管理をよろしくお願ひしたい。夏季休暇の時期であるからだけではなく、仕事を計画的に進め、休みを計画的に取るように。
- ・ 計画や事業を市民や関係者と進める場合、常に疑問を持ちながら、問いかけながら進めてほしい。計画を作り、説明し、実行するというプッシュ型、ワンウェイ型でしている例が多いが、何故今これをしているのか、どこに根拠があるのか、どこで決まったのか等、良い意味で新鮮な問いかけや疑問を持ちながら進めると、却ってコミュニケーションが進み、仕事の質が上がる。昔からしており今更疑問があるわけがないと思いついでいるが、協議の場で改めて問いかけると答えに詰まり説明がつかない場面が見受けられる。それぞれの場で管理職に問いかけてもらおうと仕事の質が上がり、リスク管理にもなる。職員全体が積極的に、問いかけ型、疑問型で仕事に取り組んでほしい。

2. 報告事項

① 平成30年第6回野洲市議会定例会提出議案(案)について

[所管:総務部]

決算認定12件、補正予算6件、条例制定・改廃6件、その他3件、人事案件2件を平成30年度第6回野洲市議会定例会に提出する。

② 平成30年度障がい者就労体験事業の実施について

[所管:健康福祉部]

市障がい者自立支援協議会就労部会における検討を踏まえ、障がいのある人にとっては就労の場の選択機会が少ないことから、市が就労体験する場を提供することにより、就労への準備性を高めることを目的に障がい者就労体験事業を実施する。平成22年度から実施しており、今年度で9年目となる。12種類15コースを実施する。

→これはこれで良い取組みであるが、障害者雇用は失業率でなく雇用率だけで見ているため、本来の障がい者の立場に立った雇用の実情が見えない。本当の改善に結びつけていけないといけない。市は法定雇用率はかろうじて満たしている。

→市の障害者雇用の雇用率は市長部局2.73%、教育委員会部局2.67%であり、法定雇用率2.5%は満たしている。

③ 全員協議会への提出事項について

[所管:総務部]

報告事項7件、会議結果報告事項3件、連絡事項3件を全員協議会に提出する。庁議に付議できていない案件については、付議願う。

3. 協議事項

① 平成29年度野洲市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

[所管:みず事業所]

平成29年度野洲市水道事業会計未処分利益剰余金74,814,650円を更新事業の財源に充てるため建設改良積立金に積み立てることについて、地方公営企業法第32条2項に基づき、議会の議決を求める。

② 平成29年度野洲市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

[所管:みず事業所]

平成29年度野洲市下水道事業会計未処分利益剰余金471,452,056円を企業債償還に充てるため減債積立金に積み立てることについて、地方公営企業法第32条2項に基づき、議会の議決を求める。

→営業収支では約3億3千万円の赤字だが、営業外収支及び特別利益及び損失により発生する純利益において積立を行うということか。

→そうである。

4. その他伝達事項

- 8月5日に第53回滋賀県消防操法訓練大会が開催された。野洲市消防団は小型ポンプの部に出場され、16団体中12位であった。約6ヶ月間訓練された成果を発揮いただいた。（市民部）
- ひまわり迷路が8月5日で終了し、約12,000人の来場者があった。（環境経済部）
- 議員からの問合せや要求について共有化するよう制度化しているが、最近報告が無い。時間が経つとルーズになりがちであり、再度制度を確認するように。

5. 次回部長会議の予定

8月13日（月） 8時45分～ 庁議室